

# 聖書の集いガイド



2014 年版

## 1. 短い自己紹介

(皆がよく知り合っている場合、自己紹介は必要ありません)

## 2. はじめの祈り (司会者が唱えます)

主イエス、あなたは福音書をとおして、  
きょうもすべての人に語りかけてくださっています。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでも  
わたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」

わたしたちは、このあなたの呼びかけに応えて  
ここに集まりました。

あなたは、ご自分のもとに来たすべての人を  
歓迎してくださいます。

わたしたちも互いに心から歓迎しあうことができますように。

(きょうは〇〇さん、〇〇さんが、  
この集いに初めて参加してくださいました。  
新しい仲間を与えてくださったことを心から感謝いたします。)

主イエス、わたしたちは  
福音書をとおして伝えられたあなたの姿を見つめます。

あなたの声に耳を澄まします。

あなたとともに時を過ごそうとしています。

わたしたちがあなたの心といのちに触れ、

お互いのことばに耳を傾け合い、

共に祈ることをとおして、

新たな力をいただくことができますように。アーメン。

### 3. 次の日曜日のミサの福音の箇所をゆっくり読む

(司会者の隣の人が1人で読む。あまりに長い場合は何人かで分けて読むとよい)

### 4. 「福音のヒント」を読む

(席順で、段落ごとに何人かで分けて読むようにする)

### 5. もう一度、福音の同じ箇所を読む

(さらに席順で次の人が読む。聖書朗読が同じ人に当たった場合は、他の人に代わってもらう)。

### 6. 5分ぐらい各自が沈黙のうちに福音の言葉を味わう。

### 7. 心に響いたことを分かち合う。

(席順に、なるべく一言でも感じたことを話す。ただ、無理に話さなければならない、という圧迫を感じないように。最初は3分を目安に。話したい人全員が話すまで同じ人が2度3度話さないように。質問・批判・議論の場ではありません。互いの分かち合いをそのまま受け取ります)

### 8. 神が今日のわたしたちに何を呼びかけておられるかを受け取るために、しばらく沈黙のうちに祈る。

## 9. 参加者が自由に自分のことばで祈りをささげる

(祈りの結びに「アーメン」と言い、皆で「アーメン」を繰り返す。最後は主の祈りで結ぶ)

天におられるわたしたちの父よ、  
み名が聖とされますように。み国が来ますように。  
みこころが天に行われるとおりに 地にも行われますように。  
わたしたちの日ごとの糧を今日(きょう)もお与えください。  
わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。  
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

## 10. 結びのことば (司会者が読みます)

これで聖書の集いを終わります。  
わたしたちはこの集いの中で、  
福音書の言葉を一緒に味わいながら、  
わたしたちとともにいてくださる神様・イエス様を感じ、  
その神様・イエス様に力づけられました。  
また信仰の道とともに歩んでくれる仲間の存在にも  
励まされています。

最後に一つだけわたしたちは約束をします。  
それはきょうここで聞いたことを  
わたしたち一人一人の心の中にだけ収め、  
ほかの場所で話さないことです。

それぞれの生活の場に戻っていくわたしたちを  
神様が豊かに祝福して下さいますように。

(どうもありがとうございました)